



令和3年5月10日

各位

会社名 日鉄鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 森川 玲一
(コード番号 1515 東証第1部)
問合せ先 管理課長 細川 剛生
(TEL 03-3216-5322)

第2次(2021年度～2023年度)中期経営計画策定のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年度から2023年度を対象とした中期経営計画の策定について決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 第2次中期経営計画方針

当社グループの長期ビジョン『資源の開発・安定供給を通じて社会に貢献するとともに、「総合資源会社」としてグループの総合力を発揮し、持続的成長を実現する』を踏まえ、以下を基本方針として取り組んでまいります。

- ・大型投資を着実に実行し、持続的成長へ向けた資源の獲得を目指す
- ・国内外の需要動向に対応した経営資源の配分を行う

本中計期間は、将来の成長を見据えた大型投資の本格的実行期間となります。鳥形山鉱業所(石灰石)第3立坑は2023年度からの本格運用を目指し建設中であり、開発中の八戸鉱山新鉱区及び開発準備段階であるアルケロス銅鉱山についても開発を推進し、次期中計期間での本格操業を目指す計画です。

このような積極投資に耐えうる収益の確保と財務の健全性を維持しながら、国内外の需要動向、特に石灰石の主要納品先である鉄鋼メーカーの構造改革などに臨機応変に対応していくことが重要課題と認識しております。

このため、全ての事業において、成長分野の見極めや需要の開拓を推進するとともに、SDGsへの取り組みと事業活動の両立を図ります。

2. 財務指標と中長期経営目標

総資本の効率的な運用による ROA（総資本営業利益率）の向上と安定した自己資本比率の維持の両立を目指します。

| | 2023 年度 目 標 | 中長期 目 標 |
|-----------|----------------|------------|
| ROA（営業利益） | 4%以上 | 7%以上 |
| 自己資本比率 | 57.5%以上 | 60%以上 |

3. 資金計画と設備投資計画

（1）資金計画

| | 2021 年度 計 画 | 2022 年度 計 画 | 2023 年度 計 画 |
|-------------|----------------|----------------|----------------|
| EBITDA*（億円） | 152 | 148 | 154 |
| 有利子負債残高（億円） | 215 | 253 | 304 |

※営業利益＋減価償却費

（2）設備投資計画

| | 2021 年度 計 画 | 2022 年度 計 画 | 2023 年度 計 画 |
|-----------|----------------|----------------|----------------|
| 設備投資（億円） | 121 | 132 | 173 |
| 減価償却費（億円） | 58 | 58 | 81 |

4. セグメント別計画

(1) 売上高 (億円)

| | 2021年度 計 画 | 2022年度 計 画 | 2023年度 計 画 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 資源事業：鉱石部門 | 511 | 498 | 494 |
| 資源事業：金属部門 | 615 | 599 | 584 |
| 機械・環境事業 | 125 | 127 | 128 |
| 不動産事業 | 28 | 27 | 27 |
| 再生可能エネルギー事業 | 17 | 17 | 17 |
| 調整額 | ▲12 | ▲12 | ▲12 |
| 計 | 1,284 | 1,256 | 1,238 |

(2) 営業利益 (億円)

| | 2021年度 計 画 | 2022年度 計 画 | 2023年度 計 画 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 資源事業：鉱石部門 | 66 | 63 | 40 |
| 資源事業：金属部門 | 26 | 21 | 25 |
| 機械・環境事業 | 10 | 10 | 11 |
| 不動産事業 | 15 | 14 | 16 |
| 再生可能エネルギー事業 | 4 | 4 | 4 |
| 調整額 | ▲26 | ▲23 | ▲23 |
| 計 | 94 | 90 | 73 |

5. セグメント別戦略

(1) 資源事業：鉱石部門

| | |
|----------------------|--|
| 長 期 目 標 | ●国内需要減少を見据えた海外市場へのグローバル展開 |
| 中 計 期 間 の 具体的取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定供給体制の再構築 ・ アジア・オセアニア圏への輸出拡大 ・ AI・IT技術導入による生産合理性、経済性の向上 ・ 国内外における石灰石等の鉱物資源開発の推進 ・ 鉱物資源の価値向上 |

(2) 資源事業：金属部門

| | |
|------------------|---|
| 長期目標 | <ul style="list-style-type: none"> ●チリ共和国で銅量換算年間5万トン以上の銅精鉱生産 ●製錬事業の安定した黒字化を実現 |
| 中計期間の 具体的取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・チリ共和国アタカマ銅鉱山の鉱量増大 ・チリ共和国アルケロス銅鉱山の開発促進 ・アルケロス銅鉱山に続く銅鉱山開発調査 ・製錬コスト低減を最優先課題とした業績改善 |

(3) 機械・環境事業

| | |
|------------------|---|
| 長期目標 | ●セグメント利益 30 億円以上の達成 |
| 中計期間の 具体的取り組み | <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代型水処理剤の開発による新規需要の開拓 ・台湾、東南アジア圏等に水処理剤製造工場を建設し海外市場を開拓 <p>【機械】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集じん機のアジアを中心とした海外市場の開拓 ・集じん機フィルタの製造自動化等の改善による価格競争力強化 ・分煙機の新規用途展開による拡販 |

(4) 不動産事業

| | |
|------------------|--|
| 長期目標 | <ul style="list-style-type: none"> ●遊休社有地の新規開発 ●物件の組み換えによる収益性の向上 |
| 中計期間の 具体的取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・新規開発に関する調査促進 ・リニューアルによる顧客満足度の向上と収益性確保 ・既存物件の収益性、将来性の再検討 |

(5) 再生可能エネルギー事業

| | |
|------------------|--|
| 長期目標 | <ul style="list-style-type: none">●地熱発電向け蒸気供給量の最大化●新規地熱発電所の建設、運営●グループ全体に再生可能エネルギーを導入 |
| 中計期間の 具体的取り組み | <p>【地熱発電】</p> <ul style="list-style-type: none">・大霧発電所の最大発電量を賄う蒸気供給量確保に向けた調査及び計画立案・新規地熱発電所建設のための調査促進 <p>【太陽光発電】</p> <ul style="list-style-type: none">・安定操業及び余剰電力の活用方法検討 <p>【水力発電】</p> <ul style="list-style-type: none">・鉾山の坑内水を利用した小水力発電の調査促進 <p>【グループ全体】</p> <ul style="list-style-type: none">・自家発電・自家消費用の再生エネルギー導入検討 |

5. 株主還元方針

(1) 基本方針

自己資本の充実と株主還元の両面の最適なバランスを図りながら、長期安定的な配当を実施する。

(2) 配当目標

連結配当性向 30%を目途に還元

6. 添付資料

第2次中期経営計画 概要 (2021年度～2023年度)

以上

本資料に掲載されている計画・見通しに関する内容につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成したものであり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により本資料の計画等と大きく異なる可能性があります。